

令和8年度都立八丈高校定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	○「書くこと」「話すこと」の指導の充実	・読書活動後、POP作品の作成を行う。 ・短歌、俳句作品の作成を行う。 ・ショートスピーチの実施。	・文化祭でのPOP作品や短歌・俳句作品の展示を実施する。 ・探究学習発表の場においてプレゼンテーション発表を行う。
社会	○世界情勢の理解 ○何事にも問題意識をもたせ、「なぜ」と考える力の養成	・歴史的出来事を学ぶ上で、時代背景だけでなく、気候や風土、宗教、習慣など地域の特性を理解させる授業を実施する。 ・時事問題を取り入れ、問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。	・歴史的出来事の起こった過程や、時事問題が起きた過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業を実施する。
数学	○数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解	・新しく学ぶことを既習事項と結びつけられるような授業を実施する。 ・事象を数学的に考察できるような、教材開発を行う。	・ルーブリック評価を取り入れ学習到達度を表を用いて測定する。 ・ICTを利用し、グラフや図形を視覚的に分かりやすくする。
理科	○「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・探究の過程を踏まえた実験を実施。 ・考察・推論したことや結論について、全体で発表する機会を設ける。	・プレゼンテーションのつくり方や発表方法について学習させる。 ・実験結果や推論等を互いに共有させ、一歩踏み込んだ考察を行わせる。
保健体育	○生涯を通じた健康管理能力の育成 ○運動習慣の定着と体力向上	・体力テストの結果を活用した目標設定と振り返りの充実 ・生活習慣病予防や心身の健康に関する保健学習の充実 ・ストレスマネジメント教育の実施	・エンジョイスポーツ・プロジェクトの外部講師を活用した実技指導の実施 ・卒業後も継続できる運動習慣づくりの実施
英語	○英語と日本語の語順の違いに着目し、「簡潔な英語で話す」英語力の養成	・日本語による複雑な言い回しをそのまま英語に逐語訳そうとするのではなく、まず簡潔な日本語の表現に変換する練習を行わせる。 ・教科書で身に付けた基本表現をもとにして、基礎英単語で会話表現できるよう4年間かけて計画的に学習させる。	・教員による場面設定に合わせて、即興で簡潔な英語を用いて生徒同士で質問させる。 ・質問された生徒は英語での質問を聞き取り、理解したうえでわかりやすい英語で返答し、理解し合えるように工夫する。 ・互いの英語表現について学び合い、互いの表現力を向上させるよう授業を構成する。
家庭	○家庭科の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を確実に習得する	・調理実習、被服実習を行い、技術力を身につける。 ・生活に活かせるように、生徒の実態に合わせた学習を行う。	・製作物の内容について、繰り返し行わせることで技術力を身につけさせる。 ・卒業後の生活を意識させて、生徒自身が活用できる授業内容の工夫。
情報	○対話的な授業の実践	・毎授業課題を出し、意見を共有する学び合いの時間と、振り返りシートを用いた振り返りの時間を設ける。	・ルーブリックに基づく評価を生徒に還元し、振り返りシートを活用しながら主体的に学ぶ態度の育成を図る。
農業	○農業科の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を確実に習得する	・学習内容の目的、習得する知識・技術を明確にする。 ・レポート作成で実習や学習内容を振り返る機会を設ける。	・製造原理や製造方法について自分の言葉で人に説明できるようにする。 ・HACCP認証制度に準じた指導を行い、自ら危害分析ができるようにする。